

一般財団法人 今井精一記念財団

令和3年度（第3期）事業計画書

2021年1月1日から2021年12月31日

1 方針

少子高齢化が急速に進む日本において、女性特有の疾患や妊娠、出産、新生児を中心に診療・研究する周産期・新生児医学、婦人科腫瘍学、生殖医学、女性医学における独創的、先端的な研究に対する助成を通じて、女性と生まれてくる子供たちの健康を支援することを目的とし、以下の事業を行う。

2 事業計画

(1) 主な活動内容

本年度は、これまでの活動実績を踏まえ、以下の活動を行う。

- ・助成事業の積極推進
- ・公益財団法人への認定申請の準備と対応
- ・公益財団法人を見据えた組織体制の整備

(2) 具体的内容

① 助成事業の積極推進

- ・助成金額 基準：1件150万円（単年度10件以内）
- ・対象 助成対象(※1)の研究を行い、推薦者(※2)より推薦を受けた、2021年4月1日現在満41歳未満の者。

(※1)助成対象

周産期・新生児医学、婦人科腫瘍学、生殖医学、女性医学等における独創的、先端的な研究

(※2) 推薦者

当財団の理事・評議員の他、応募者の所属する大学の学長、大学院の場合は大学院研究科長、学部の場合は学部長及び所属教室の主任教授、病院の場合は病院長、研究所の場合は研究所長、他の研究機関では代表責任者とする。但し、令和2年度に当財団から助成を受給した研究機関の責任者もしくは教室の主任教授等を除く。

- ・選考方法 選考委員会の選考結果を元に、理事会にて決定する。
- ・募集期間 令和3年4月1日～令和3年7月15日

- ② 公益財団法人への認定申請の準備と対応
公益財団法人への認定取得を目指し、準備を進める。
- ③ 公益財団法人を見据えた組織体制の整備
公益財団法人を見据え、組織体制を整備するために以下の活動を行う。
 - ・財団ホームページのより一層の充実（適宜）
 - ・財団パンフレットのより一層の充実（3月頃）
 - ・選考委員会の充実（3月迄に1名程度を増員）

3 財源

寄附により実施する。